

第2回「原発と人権」全国研究・交流集会 in福島～人間・コミュニティの回復と原発のない社会をめざして～

宿泊と懇親会申込 締め切り3月20日(厳守)

- 1.別紙の「宿泊・懇親会申込書」をご記入の上、ファックスにてお申し込み下さい。
FAX送信先：03-3357-3317 (株)富士国際旅行社(担当/都築・小野寺宛)TEL:03-3357-3377
- 2.宿泊費(13,800円・懇親会費を含む)・懇親会のみ(9,700円)の払込方法
3月20日(木)までに下記の口座に送金してお払いください(振込手数料は各自負担になります)。
振込先 三菱東京UFJ銀行 新宿通支店 普通 2580145 (株)富士国際旅行社
- 3.当日の宿泊の受付および宿泊費等のお支払受付は致しません。ご承知置き下さい。
また、上記宿泊費・懇親会費に、集会参加費1,000円は、含まれていませんので、ご承知置き下さい。

参加チケットの購入 事務局まで FAX(03-5812-4679)で、お申込下さい(TEL:03-3836-0845)。当日、会場でも販売いたします。なお、参加チケット代1,000円は、上記宿泊費・懇親会費とは**別料金**です。

第2回「原発と人権」全国研究・交流集会へのお誘い

私たちは、一昨年4月に、『原発と人権』全国研究・交流集会 in 福島」を開催しました。この企画の趣旨は、第1に、福島第一原発事故の原因と責任、その未曾有の被害をできるだけ明らかにすること、第2に、人権侵害・コミュニティ破壊からの回復、完全賠償、そして原発のない社会を目指すこと、第3に、その為に、全国の法律家、社会学者、自然科学者、医者、ジャーナリストをはじめ、支援の市民が一堂に会して分野を越えた連携を強めることでした。この企画は全国から500名以上の人々が集まり、大きな成功を収めました。

その後2年が経過しましたが、事故は「収束」などにはほど遠く、原発は汚染を拡大し続け、今なお約14万人の避難者の帰還、被害の回復・補償・賠償は遅々として進まず、被害者達は、様々な新たな困難に直面しています。他方、事故原因の究明は不十分のまま放置され、東京電力も政府も責任逃れに終始し、政府は原発の再稼働に前のめりとなり、原発の輸出まで推し進めています。

こうした状況の下、私たちは、この事故の風化を許さず、現在の被害の状況と情勢の全体像をしっかりと把握し、運動の課題を明らかにし、全国に広がっている「被害回復」「脱原発」の運動の連携を進めること、さらには原発輸出を阻止するためにも国際的連帯を目指して、「第2回「原発と人権」全国研究・交流集会 in 福島」を企画致しました。ぜひご参加下さい。

オプションツアー(主催:フクシマ現地調査実行委員会)

フクシマ現地調査(4月6～7日)・相馬・いわきの2コース。

4月6日 16:00 福島大学バス出発(相馬・いわき宿舎へ) 両宿舎で各々原告との交流会。

4月7日 9:00 宿舎出発 2コースに別れての現地調査。

詳しくは別紙ご案内をご参照下さい。

第2回「原発と人権」全国研究・交流集会実行委員会(実行委員長 淡路剛久/福島実行委員長 今野順夫)
事務局 〒110-0015 東京都台東区東上野 3-28-4 上野スカイハイツ 504号 福島原発被害弁護団気付
TEL/03-3836-0845 FAX/03-5812-4679

実行委員会参加団体 公害・地球環境問題懇談会/自由法曹団/青年法律家協会弁護士学者合同部会/全国公害総行動実行委員会/全国公害弁護団連絡会議/日本科学者会議/日本環境会議/日本国際法律家協会/日本ジャーナリスト会議/日本反核法律家協会/日本民主法律家協会/脱原発弁護団全国連絡会/「生業を返せ、地域を返せ!」福島原発事故被害弁護団/福島原発被害首都圏弁護団/福島原発被害弁護団/「原発と人権」ネットワーク/ふくしま復興共同センター

参加チケット代送り先

下記郵便振替口座に、住所、氏名、電話、希望枚数をご記入の上、ご送金下さい。

口座記号番号/00160-4-616895
加入者名/「原発と人権」全国研究・交流集会実行委員会

カンパも上記口座で受け付けておりますので、1口1000円3口以上のご協力をお願いします。

福島大学へのアクセス

【電車ご利用の場合】 福島駅より東北本線(上り)2駅目・金谷川駅下車/徒歩約10分

新幹線所要時間:東京から約100分、仙台から約30分 福島⇄金谷川間/所要時間10分

(注:東北本線の列車は、1時間に2本程度です。時刻表をご確認ください。)

【お車ご利用の場合】 東北自動車道「福島松川PA・スマートIC」から約10分、「福島西IC」から約20分(所要時間/東京方面「川口JCT」から約3時間、「仙台宮城IC」から約1時間)

第2回

原発と人権 全国研究・交流集会

in 福島

～人間・コミュニティの回復と
原発のない社会をめざして～

主催 第2回「原発と人権」全国研究・交流集会実行委員会
後援 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター/福島民報社/福島民友新聞社/日本環境学会/マスコミ関連九条の会連絡会

第2回「原発と人権」全国研究・交流集会 開催要項と参加のご案内(改訂版)

2014・4/5(土)・6(日)

福島大学(福島市金谷川 1/JR東北本線・金谷川駅下車)

参加費 1,000円(両日参加・一日参加とも同一料金)

4月5日(土)全体会

福島大学/L講義棟・4号教室
12:30 開場 13:00 開会 18:10 閉会

開会挨拶 淡路剛久(実行委員長)
歓迎挨拶 中井勝巳(福島大学学長)
基調講演 柳田邦男(ジャーナリスト)
報告 真木實彦(福島大学名誉教授)

休憩

原発事故被害者・市民は訴える
現地首長は訴える
特別講演 ミシェル・プリウール
(仏、リモージュ大学名誉教授)
総括報告 丹波史紀(福島大学准教授)

懇親会&宿泊

飯坂温泉「飯坂ホテル聚楽」
申込方法は、裏面記載のように、別紙によりお願い致します。

4月6日(日)

分科会/全体会

福島大学/M講義棟各教室。L講義棟・4号教室

分科会 9:30～15:00

- 1「被害者訴訟原告団・みんなで交流～私たちが求めるもの、私たちが目指すもの～」
- 2「原発事故被害の賠償－損害と責任」
- 3「脱原発を実現するために」
- 4「原発事故報道3年－伝えたこと・伝えられなかったこと」
- 5「人権は核と共存できない～脱原発と核兵器廃絶・国際ネットワーク」

全体会 15:10～16:00

分科会報告 集会アピール
閉会挨拶 今野順夫(福島実行委員長)

第2回「原発と人権」全国研究・交流集会 in 福島

第1日 全体会 福島大学/L講義棟 4号教室/4月5日(土)12:30 開場 13:00 開会 18:10 閉会
司会 丸山重威さん(ジャーナリスト)・関根未希さん(弁護士)

開会あいさつ 実行委員長 淡路剛久さん(日本環境会議名誉理事長・立教大学名誉教授)
歓迎あいさつ 中井勝巳さん(福島大学学長)

I 基調講演 柳田邦男さん「終わらない原発事故～被害者の視点から～」



講師紹介 ノンフィクション作家、評論家。半世紀にわたり災害、事故、公害などの調査取材と分析を続け、運輸安全委員会の事故調査の改革にかかわるなど、事故調査分析の経験を積んできたことから、福島原発事故の政府事故調の委員長代理も務めた。終末期医療と生死観、ネット社会における子どもの心の発達と危機などの現代社会が直面する問題についても執筆と講演の活動に力を入れている。近著に、『「想定外」の罫』『終わらない原発事故と「日本病」』『言葉が立ち上がる時』『生きる力、絵本の力』等多数。1936年栃木県生まれ。

II 報告 真木實彦さん「福島県の県内全原子炉廃炉を求める運動」

報告者紹介 1932年生まれ。福島大学名誉教授。福島九条の会事務局長。著書に、『講座 資本論の研究(第5巻)』、『新マルクス経済学講座』(共著)、『福島は訴える』(編著)ほかがある。

III 原発事故被害者・市民は訴えるー被害者・市民の皆さんからの報告

滞在者 / 農民 / 漁民 / 広域避難者 / 原発労働者を支援・調査をしている方 / 脱原発訴訟原告 等

休憩

IV 現地首長は訴える

南相馬市長・桜井勝延さん

V 特別講演 ミシェル・プリウールさん「欧州から見た福島原発事故と人権」



講師紹介 1940年生まれ。フランス。リモージュ大学名誉教授。環境仲裁・和解国際裁判所委員、国際自然保護連合副委員長、国際比較環境法センター所長などを歴任。フランスにおける環境法の第一人者。国連・環境会議への提言、EU内での環境関係の委員会活動に活躍。本年2月にジュネーブで国際シンポジウム「原発事故と医学および法学」を準備された。

VI 総括報告 丹波史紀さん

講師紹介 1973年生まれ。福島大学行政政策学類准教授。うつくしまふくしま未来支援センター地域復興支援部門長兼地域復興支援担当マネージャー。反貧困ネットワークふくしま共同代表。著書(共著)に、『公的扶助論』、『現場がつくる新しい社会福祉』、『よくわかる公的扶助』等がある。

宿泊&懇親会

飯坂温泉「飯坂ホテル聚楽」

〒960-0201 福島市飯坂町西滝ノ町27 ☎(024)542-2201(代表) FAX(024)542-0952

宿泊料金 13,800円(懇親会費用を含みます。飲み物別。税込み。)

懇親会のみ 9,700円(飲み物別。税込み。)

【注】上記料金には福島大学⇄ホテル聚楽の往復送迎バス代金を含みません

第2日 分科会／全体会／ 4月6日(日)

I 分科会のご案内 9:30～15:00

第1分科会:「被害者訴訟原告団・みんなで交流～私たちが求めるもの、私たちが目指すもの～」【L棟・4号教室】
(「生業を返せ、地域を返せ!」福島原発訴訟原告団)

あれから3年。全国で5000人以上の被害者が、13か所の裁判所で、原状回復と完全賠償を求めて立ちあがっています。しかし、これまで、国や東電による線引き、滞在者と避難者の距離感もあり、被害者同士が連携を図ることが難しい状況にありました。国と東電の責任を認めさせ、被害者の要求や想いを実現させるためには、各地に避難した被害者と、地元に残っている被害者、そして支援する人々が団結していかなければなりません。みんなで今後の取組について交流する第一歩にしよう——それがこの分科会です! 「生業を返せ、地域を返せ!」福島原発訴訟原告団は、皆さんの参加を心から呼びかけます!!

第2分科会:「原発事故被害の賠償——損害と責任」【M棟・1号、2号教室】
(日本環境会議「福島原発事故賠償問題研究会」)

日本環境会議は、昨年12月から「福島原発事故賠償問題研究会」を開催し、法学、経済学、社会学など学際的な研究者、原発賠償に関心を持つ弁護士や市民が多数参加しています。本分科会ではその中間報告を行ないます。

午前は、損害論と責任論を横断する全体会。**【損害論の報告】**吉村良一さん(立命館大)。**【国の責任論の報告】**下山憲治さん(名古屋大)久保木亮介さん(生業弁護団)。**【司会】**米倉勉さん(浜通り弁護団)

午後は、損害論、責任論の2つの分科会に別れて、各々討議。

責任論分科会:司会とまとめ・吉村良一さん/国の責任についてのコメントと討論。東電の責任についての報告と討論。

損害論分科会:司会とまとめ・除本理史さん(大阪市立大)/区域外被害に焦点を当てつつ、区域内・外を貫通する被害論構築を議論。

第3分科会:「脱原発を実現するために」【M棟・3号教室】
(脱原発分科会実行委)

原発再稼働と新たな原発推進政策をめぐる情勢と脱原発の全国的な闘いの到達点と課題を明らかにすることを目標とします。

第1部 基調講演とパネルディスカッション:基調講演 『『3・11フクシマ』の教訓と脱原発の現状と課題』(仮題) 斉藤貴男さん(ジャーナリスト)。**／パネルディスカッション** 斉藤貴男さんにコーディネーターをお願いし、脱原発全国運動の最前線で闘う人々による闘いの現状、脱原発の展望を討論。

第2部 脱原発訴訟原告団・市民運動の経験交流と討論/河合弘之弁護士に、北海道から鹿児島までの脱原発闘争の現状を俯瞰して到達点と課題、勝利の展望について問題提起を頂きます。それにふまえて、全国各地で裁判を闘う原告・支援の方々、地元福島県下で廃炉を求める市民運動の方々各地の活動の経験交流と討論を行います。

第4分科会「原発事故報道3年、伝えたこと伝えられなかったこと」【M棟・21号教室】
(日本ジャーナリスト会議)

原発事故以後、メディアが報道すべき課題は数多い。福島現地から全体像を見詰め続けている記者、現地との協力の中で、真実を追及し続ける記者、チェルノブイリ事故などの経験を基に、現場のルポを続けたテレビ記者の報告を中心に、3年間の報道と、これからの報道の課題を討論します。

報告者:東京新聞編集委員・福島駐在、特別支局長 井上能行さん/毎日新聞社会部記者(「福島県民健康調査」の報道)日野行介さん/前日本テレビ「ドキュメント14」取材班・記者倉澤治雄さん コーディネーター:JCJ代表委員・元朝日新聞科学部長 柴田鉄治さん

第5分科会:「人類は核と共存できない～脱原発と核兵器廃絶・国際ネットワーク～」【M棟22号教室】
(日本国際法律家協会/日本反核法律家協会)

なぜ、フィリピンやドイツは、原発の稼働を阻止し、脱原発に舵を切ることができたのでしょうか。今の日本は世界からどのように見え、世界はどのような状況なのでしょうか。原発と核兵器の国際的な法的枠組や、海外の経験・視点から、脱原発、核兵器廃絶の可能性を探ります。

【基調講演】:山田寿則さん(国際法学者) **【パネルディスカッション】:**ステイブ・リーパーさん(アメリカ・広島平和文化センター元理事長)、ルイシト・ブッチ・ボンゴスさん(フィリピン・アジア・太平洋移民ミッション日本代表)、千葉恒久さん(弁護士・ドイツ研究)、伊藤和子さん(弁護士・国際人権NGO ヒューマンライツ・ナウ事務局長)。(開場後と昼休みに、世界の原発や被爆者の映像を流す予定です)

II 全体会 15:10～16:00 司会/丸山重威さん(ジャーナリスト)・関根未希さん(弁護士)

【分科会報告】各分科会責任者/ **【集会アピール】**

【閉会あいさつ】福島実行委員長 今野順夫さん(元福島大学学長)